

## 機器選定におけるポイント

## 電子ペン

|   | 機器選定のポイント | 想定される問題点  | 機器選定において配慮すべき機能   |
|---|-----------|---|---|
| 1 | 読み取り方式    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ペンの位置補正や読み取り機の設置など、始めるまでの手順が多いものは、追究時間を確保できない。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ペンとは別の読み取り機器を使うものは、集団で利用するのは難しい。</li> <li>○アノト方式は、独自の用紙を印刷して利用するが、ペンだけで記録することができる。</li> </ul>   |
| 2 | 転送方式      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●教師用 PC に転送できないと、授業中に提示して共有することが難しい。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ペンに蓄積されたデータを USB ケーブルや無線で転送するが、無線転送方式は授業者の負担が少ない。</li> </ul>                                    |
| 3 | 取り扱い      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●バッテリーが切れてしまうと、それ以上利用することができない。</li> <li>●ペンの形状（軸の太さ）や重さによって、児童生徒が持ちにくい場合や長時間利用できない場合がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○バッテリーの持続時間や充電方法を確認する。</li> <li>○利用する児童生徒を想定し、ペンの形状や重さ等を確認する。</li> </ul>                         |
| 4 | 同時利用可能数   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●教室内で利用できるペンの数に限りがあるので、用途が限定されてしまう。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○USB 接続で転送する方式のペンは、簡単に転送できないが、全員が同時に使うことができる。</li> <li>○無線接続方式のペンは、同時接続数に違いがあるので確認する。</li> </ul> |